

日本医学会分科会活動報告

学会名(No.142)日本国際保健医療学会

代表者名 小林潤 (理事長)

I. 医学および医療の水準の向上への貢献が日本医学会分科会にふさわしいと考えられる貴学会の独自の活動を以下に留意して記載をしてください。

a. 特に学術的に重要と考えられるもの

- 1) 学術大会の開催：第36回日本国際保健医療学会学術大会を、2021年11月27-28日、国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所をハブとして「パンデミック後の持続可能な保健医療に向けた国際協力」をテーマにオンラインで開催。第37回学術大会を、2022年11月19-20日、愛知県立大学長久手キャンパスにて「"ひとり"はどこにいるかー草の根と意思決定者をつなぐ」をテーマにハイブリッド形式で開催。第38回学術大会（グローバルヘルス合同大会2023）を、日本熱帯医学会、日本渡航医学会、国際臨床医学会と合同で2023年11月24-26日、東京大学本郷キャンパスにて「グローバルヘルスの海へ：多様性を包摂する豊かさを求めて」をテーマに開催。
- 2) 地方会の実施：年に1回、東日本と西日本それぞれで、地方会を実施。シンポジウム、口演発表、ポスター発表を実施。
- 3) 学術誌の刊行：日本熱帯医学会と共同で英文誌”Tropical Medicine and Health”をSpringer Natureより刊行。また、日英どちらの論文も掲載する「国際保健医療（Journal of International Health）」をJ-Stageにて刊行。
- 4) 倫理審査と倫理講習：研究倫理審査委員会が、所属組織に倫理審査委員会がない会員の研究倫理審査を実施すると同時に、年1回倫理ならびにコンプライアンスの講習を実施。
- 5) 移民の健康委員会の活動による学会声明の発表：ウクライナ、ガザ等での紛争が激化する現状を踏まえ、2024年1月23日、移民の健康委員会によって原案が作成され、理事長名義にて「世界中で紛争が引き起こしている「負の連鎖」を断ち切ろう」という声明（メッセージ）をウェブサイト上で発表。
- 6) 学会としての研究実施：2023年度、厚生労働行政推進調査事業費補助金（新興・再興感染症及び予防接種推進研究事業）にて、受託研究「新型コロナパンデミックにおける在留外国人の死亡等に関する研究」を実施。

b. 当該領域における国際的な役割

- 1) 国際連携委員会を通じて、韓国、台湾のグローバルヘルス関連学会との交流を実施。2024年11月に予定されている第39回学術大会では、台湾のグローバルヘルス学会（Taiwan Association for Global Health Initiative）との共同開催を予定。
- 2) 学術大会において、多くの海外からの登壇者がシンポジウム、口演発表、ポスター発表に参加。
- 3) 日本熱帯医学会との共同英文学会誌”Tropical Medicine and Health”において、世界各国の研究者の研究論文を掲載。2022年よりインパクトファクターが示されるようになり、現在4.5で、Tropical Medicine の分野ではQ1に分類されている。

c.活動からもたらされる社会的な意義

当学会はそのミッションとして、グローバルな健康格差の是正を挙げている。a.に記述した様々な活動を通じ、当学会はグローバルヘルス事業の企画、実施に科学的なエビデンスを提供し、その研究者、政策立案者、実施者をエンパワーすることで、グローバルヘルスの推進に貢献している。

d.学会運営上留意している点

当学会は会員の 65%が女性であり、男女共同参画には特に留意している。男女共同参画学協会連絡会に参加する他、ダイバーシティ強化委員会を設置して、ジェンダー、年代、国籍や文化のダイバーシティとインクルージョンを促進している。また、一般社団法人である学会の外郭団体として学生部会があり、若手の育成・支援にも力を入れている。

また東日本地方会、西日本地方会の開催を再強化し、日本国内の地方でのグローバルヘルス教育・研究を積極的に支援している。

II.日本医学会分科会にふさわしいと考えられる貴学会と他の分科会との連携による活動を記載して下さい。

No.64 日本熱帯医学会とは、共同で英文学会誌”Tropical Medicine and Health”を刊行している他、2-3年ごとに学術大会を合同大会として行ってきた。2023 年には、さらに日本渡航医学会、国際臨床医学会とも合同でグローバルヘルス合同大会が開催されたが、今後も 3 年に一回は 4 学会で行う方針が 4 学会理事長の間で合意された。

また、No.76 日本医療・病院管理学会、No.12 日本衛生学会、No.37 日本衛生動物学会、No.92 日本疫学会、No.125 日本災害医学会、No.40 日本産業衛生学会、No.18 日本小児科学会、No.80 日本職業・災害医学会、No.133 日本女性医学学会の 9 分科会とは、当学会事務局員が全国公衆衛生関連学協会連絡協議会（全公連）の監事を務めていることから、主に年 1 回の学術集会を通じた情報交換を行っている。